

経営発達支援計画

2024年度(令和6年度)

地域内景況感調査報告書

1月～6月調査

令和6年9月

笠置町商工会

目次

第1章 調査概要	p2
1.1 アンケート調査の目的	
1.2 アンケート調査の概要	
1.3 アンケート調査の項目	
第2章 調査集計結果	p3～p6
2.1 昨年(令和5年1月～6月)と比べた売上の傾向について	
2.2 昨年(令和5年1月～6月)と比べた利益の傾向について	
2.3 経営上の外部環境の困りごと(経営課題)について	
2.4 経営上の内部環境の困りごと(経営課題)について	
2.5 今後の売上拡大に向けて最も必要なことについて	
2.6 大阪万博に関連した取引について	
第3章 調査結果のまとめ	p7～p8
3.1 調査結果のまとめ	
第4章 資料	p9～p10
4.1 アンケート調査票	

第1章 調査概要

1.1 アンケート調査の目的

このアンケート調査は、笠置町商工会が取り組む令和6年度の経営発達支援計画において、地域内の小規模事業者等の経営状況や景況感が、どのように変化したかの実態を把握するためのものであり、地域の経済動向を調査することを目的として実施するものです。

1.2 アンケート調査の概要

- ・ 調査対象 笠置町商工会全会員 72 者
- ・ 調査方法 郵送・持参による調査依頼、Web 及び FAX・訪問等による調査回収
- ・ 回収標本数 30 件（回収率 41.7%）

1.3 アンケート調査の項目

- ・ 昨年(令和5年1月～6月)と比べて売上はどのような傾向にあるか
- ・ 昨年(令和5年1月～6月)と比べて利益はどのような傾向にあるか
- ・ 外部環境の変化について、経営上の困りごと(経営課題)は何か
- ・ 内部環境の変化について、経営上の困りごと(経営課題)は何か
- ・ 今後、売上拡大を図るために最も必要なことは何か
- ・ 大阪万博に関連した取引はあるか

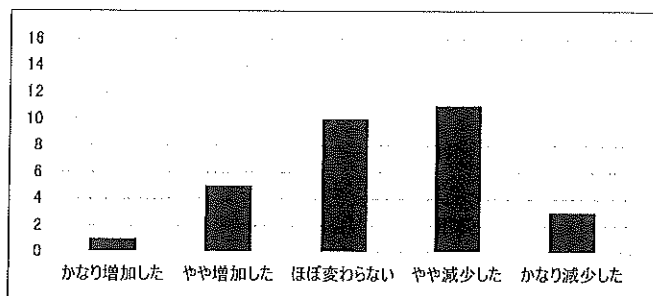
第2章 調査集計結果

2.1 昨年(令和5年1月～6月)と比べた売上の傾向について

質問:昨年(令和5年1月～6月)と比べて売上はどのような傾向にありますか?

回答:30者

売上の傾向	かなり増加した	やや増加した	ほぼ変わらない	やや減少した	かなり減少した
	1	5	10	11	3



今回の地域経済動向(景況感)のアンケート調査では、昨年(令和5年1月～6月の半年間)と比べた今年の売上について、どのような傾向にあるかを問うた。

その結果、今年(令和6年1月～6月の半年間)の売上は、昨年と比べて、「かなり増加」が1者、「やや増加」が5者、「ほぼ変わらない」が10者、「やや減少」が11者、「かなり減少」が3者となり、

ほぼ変わらないと回答した事業者が一定数あるものの、増加した事業者数より、減少した事業者数が上回り、「やや減少」が最も多くなった。

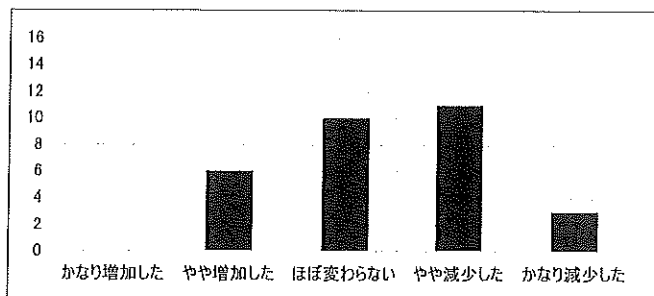
新型コロナウイルス感染症の拡大は、昨年5月8日に第5類へ移行されたことにより、ヒトやモノ等の流れが感染症の発生前に戻りつつあるが、地元笠置町内における事業者にとっては、必ずしもそれがプラス要因になったとは言い切れない様子がうかがえる。

2.2 昨年(令和5年1月～6月)と比べた利益の傾向について

質問:昨年(令和5年1月～6月)と比べて利益はどのような傾向にありますか?

回答:30者

利益の傾向	かなり増加した	やや増加した	ほぼ変わらない	やや減少した	かなり減少した
	0	6	10	11	3



次に、昨年(令和5年1月～6月の半年間)と比べた今年の利益について、どのような傾向にあるかを問うた。

その結果、今年(令和6年1月～6月の半年間)の利益は、昨年と比べて、「かなり増加」が0者、「やや増加」が6者、「ほぼ変わらない」が10者、「やや減少」が11者、「かなり減少」が3者となり、

ほぼ変わらないと回答した事業者が一定数あるものの、増加した事業者数より、減少した事業者数が上回り、「やや減少」が最も多くなった。

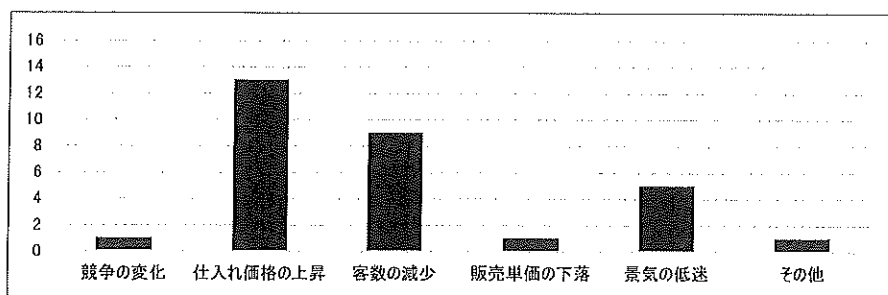
先の質問の「売上の傾向」と、ほぼ同じ回答となり、「利益の傾向」も地元笠置町内の事業者には、楽観的に捉えることはできない様子がうかがえる。

2.3 経営上の外部環境の困りごと(経営課題)について

質問:経営上での困りごとはありますか?(経営課題/外部環境) ※複数回答可

回答:28者(未回答2者)

外部環境課題	競争の変化	仕入れ価格の上昇	客数の減少	販売単価の下落	景気の低迷	その他
		1	13	9	1	5



※複数回答あり

続いて、現状の外部環境の変化について、経営上の困りごとは何かを選択式(複数回答可)にて問うた。

その結果、「仕入れ価格の上昇」が

最も多く13者と大きく目立ち、続いて「客数の減少」が9者、「景気の低迷」が5者という結果となった。なお、「その他」の1者は、「めまぐるしく変わる様々な外部環境」との回答であった。

幾度となく様々な品々の値上げが繰り返される状況は、事業者にとっても厳しさを増すばかりである。原材料費等の高騰による仕入れ価格の上昇や労務費(人件費)の上昇等も影響しているだろう。我々中小企業や小規模事業者には、非常に難しい課題ではあるが、取引先や顧客との交渉による適切な価格転嫁の推進が求められる。

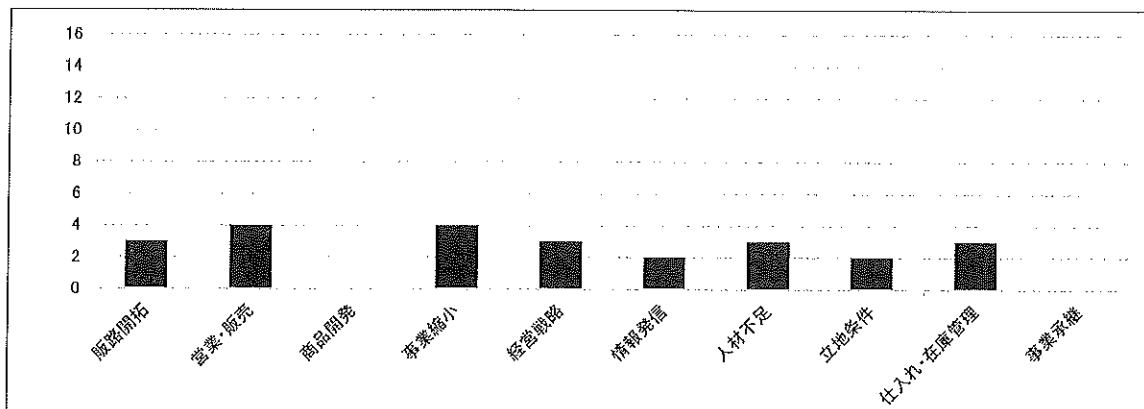
2.4 経営上の内部環境の困りごと(経営課題)について

質問:経営上での困りごとはありますか?(経営課題/内部環境) ※複数回答可

回答:19者(未回答11者)

内部環境課題	販路開拓	営業・販売	商品開発	事業縮小	経営戦略
		3	4	0	4
内部環境課題	情報発信	人材不足	立地条件	仕入れ・在庫管理	事業承継
		2	3	2	3

※複数回答あり



続いて、現状の内部環境の変化について、経営上の困りごとは何かを選択式にて問うた。

その結果、選択式の回答に分散が見られ、内部環境における経営課題(困りごと)が、事業者ごとに異なっているという結果が見られた。

個者ごとの内部的な経営課題は、当然ながらその事業者ごとに異なるものであろう。また、その経営課題が深刻なほど、社長や代表自らのみが抱え込んでしまうケースも多々あると思われる。第三者的かつ客観的な立場で、そういった経営課題に対して耳を傾けてくれる存在が商工会等である。話したまたは相談したからといってそれらの経営課題が簡単に解決されるとは言えないだろうが、孤独な社長や代表の困りごとを聴いてもらうだけでも「気が安らいだ」といったケースもある。経営課題は自力で解決できるに越したことはないが、商工会という支援機関を活用することも考慮されたい。

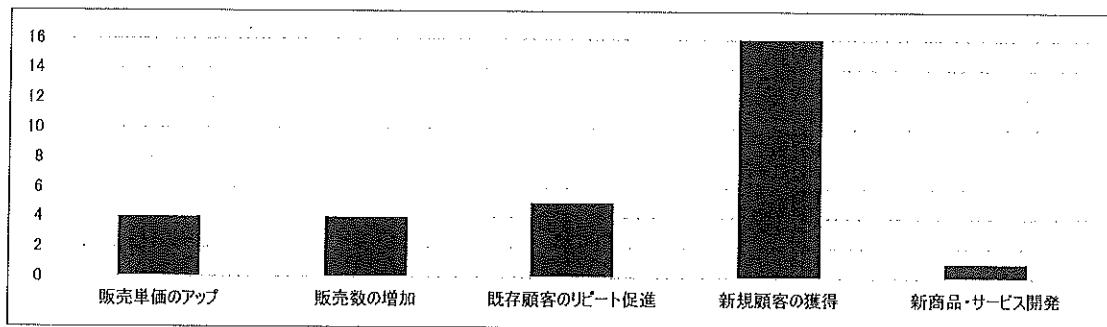
2.5 今後の売上拡大に向けて最も必要なことについて

質問: 今後売上拡大を図るためにもっとも必要なことはどれですか？

回答: 27 者(未回答 3 者)

売上拡大のために	販売単価のアップ	販売数の増加	既存顧客のリピート促進	新規顧客の獲得	新商品・サービス開発
	4	4	5	16	1

※複数回答あり



続いて、今後、売上拡大に向けて最も必要と思うことは何かを選択式にて問うた。

その結果、「新規顧客の獲得」が最も多く 16 者と突出した結果が現れた。

一般論として、業種や業態等を問わず、新規顧客を獲得することは容易ではない。一方で、従来の既存顧客との取引が縮小したり、離れたりし、売上を伸ばせない(維持できない)状況にある事業者も少なくないだろう。そういったことから、今回の回答で多くを占めた「新規顧客の獲得」の必要性が高まっていると思われる。そこで今一度事業者自身が考える必要があることは、ターゲットの明確化と自社の強みの再確認と言えるだろう。大企業や大手、著名な競合との競争を回避しつつ、小さいながらも明確なターゲットに対して他にはない(他より優れている)強みをどう新規顧客に発信するか、このマーケティング戦略の基本を再認識されたい。

2.6 大阪万博に関連した取引について

質問: 大阪万博関連しての取引はありますか？

ある	ない
----	----

回答: 30 者

大阪万博関連取引	ある	ない
	0	30

次に、来年(令和7年)4月より始まる大阪・関西万博に関連する取引はあるかを問うた。
その結果、「ない」との回答が100%となった。

第3章 調査結果のまとめ

3-1 調査結果のまとめ

今回の地域経済動向(景況感)のアンケート調査は、笠置町商工会が取り組む令和6年度の経営発達支援計画において、地域内の小規模事業者等の経営状況が、どのように変化したかの景況感の実態を調査し、その結果をもとに、商工会による個者支援に活かすことを目的としたものである。

結果、笠置町商工会全会員72者に対し、30者からの回答を得られたが、回収率は41.7%と半数を割り込む結果となった。各会員においては、分母となる多くの回答が得られるよう改めてご協力をお願いするとともに、より精度の高い情報を収集し、個者支援に活かしていきたい。

アンケート調査結果のまとめ

① 昨年(令和5年1月～6月)と比べた売上の傾向について

「やや減少」が11者、「かなり減少」が3者となり、「ほぼ変わらない」が一定数あるもの、相対的に「増加した」より「減少した」と回答した事業者が多くなった。新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行され1年以上が経過するが、地元笠置町における事業者の売上の回復感は読み切れなかった。

② 昨年(令和5年1月～6月)と比べた利益の傾向について

①の「売上の傾向」とほぼ同じ結果となり、「増加した」より「減少した」と回答した事業者が多くなり、利益の回復感は同様に読みきれなかった。

③ 経営上の外部環境の困りごと(経営課題)について

「仕入れ価格の上昇」が13者と最も多く、「客数の減少」が9者と続く結果となった。度重なる数々のモノやサービスの値上げが、地元笠置町の事業者にも大きく影響している様子がうかがえる。

④ 経営上の内部環境の困りごと(経営課題)について

内部環境における経営課題(困りごと)が、事業者ごとに異なっているという結果が見られ、多種多様な経営課題を抱えている様子がうかがえる。

⑤ 今後の売上拡大に向けて最も必要なことについて

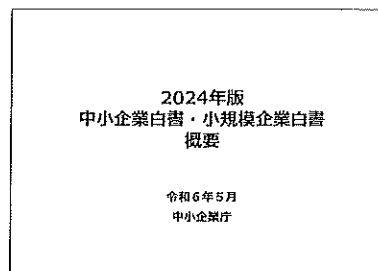
「新規顧客の獲得」が最も多く16者と突出した結果が現れた。一般論として、既存顧客に対する対策より、新規顧客の獲得活動(対策)のほうが、コストがかかるのは言うまでもないが、新規顧客となるターゲットの絞り込みや自社の強みの明確化の重要性が増していると言える。

⑥ 大阪万博に関連した取引について

今のところ、この動きは見られない結果となった。

(参考)

2024年版中小企業白書・小規模企業白書から
毎年、国(中小企業庁)の中小企業白書・小規模企業白書の
2024年度版がすでに公表されています。※「小規模企業白
書」と検索すると容易に見ることができます。
その2024年版中小企業白書・小規模企業白書の概要版の1
ページ目のみを抜粋し紹介いたします。



2024年版 中小企業白書・小規模企業白書の概要	
2024年版中小企業白書・小規模企業白書では、第1部で能登半島地震の状況や、新型コロナウイルス感染症の影響と対応、中小企業の現状と直面する課題、今後の展望について、分析を行った。第2部では、環境変化に対応して成長する中小企業や売上げの確保などの経営課題に立ち向かう小規模事業者、そしてこれらの中小企業・小規模事業者を支える支援機関について、分析を行った。	
(中小企業・小規模事業者の動向)	
1. 令和6年能登半島地震の状況と、これまでの新型コロナウイルス感染症の影響と対応について分析を行った。	
2. 2023年は年末にかけて売上げの増加に一服感が見られたものの、中小企業の業況判断DIは高水準で推移している。	
3. 事業者が直面している課題として、売上高が感染症による落ち込みから回復し、企業の人手不足が深刻化していることが挙げられる。今後の展望として、就業者数の増加が見込めない中で、日本の国際競争力を維持するためには、省力化投資や単価の引上げを通じて、中小企業の生産性を向上させていくことが期待される。	
(中小企業白書)	
4. 成長する中小企業の行動を分析すると、企業の成長には、人への投資、設備投資、M&A、研究開発投資といった投資行動が有効である。また、成長投資に伴う資金調達手段の検討も必要である。	
(小規模企業白書)	
5. 小規模事業者は、中小企業と比べ厳しい経営環境にある中で、コストを把握した適正な価格の設定や、顧客ターゲットの明確化に取り組むことで、売上高の増加につながることを期待できるほか、支援機関の活用も効果的である。また、新たな担い手の参入も生産性向上の効果が期待できる。	
目次	
第1部 中小企業・小規模事業者の動向	
第2部 (中小企業白書・小規模企業白書別分析)	
中小企業白書	環境変化に対応する中小企業
小規模企業白書	経営課題に立ち向かう小規模事業者
中小企業白書・小規模企業白書	中小企業・小規模事業者を支える支援機関

この1ページ目の赤枠で囲んだ部分に注目されたい。

今回の景況感調査で多くの事業者が回答した「仕入れ価格の上昇」については、「コストを把握した適正な価格の設定」に取り組むこと、すなわち適切な価格転嫁に取り組むことの重要性を説いている。同様に多くの事業者が回答した「新規顧客の獲得」についても、「顧客ターゲットの明確化」に取り組むことで売上高の増加につながることを期待できると説いている。さらに、商工会等の「支援機関の活用」も効果的と解説されていることから、地元笠置町だけでなく、国内の小規模事業者の多くが共通して取り組む経営課題であると捉えることができる。このことを再確認され持続的または成長的発展を図っていかれたい。

第4章 資料

4-1 アンケート調査票 (サイズ:A4)

会員各位

令和6年8月吉日

笠置町商工会
会長 大西 篤司
(公印省略)

令和6年度(1月～6月)景況感調査 アンケートのご協力をお願い

拝啓 初春の候、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当会では、経営発達支援計画の一環として、地域の景況感、特に長引く新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の外部環境の変化によって、笠置町内の事業者の経営にどういった影響を及ぼしているか等の実態を把握するため、独自の調査をさせていただき、今後の経営支援に役立てたいと考えています。事業者の皆様におかれましては、様々な外部環境の変化によって、経営環境に影響を及ぼしているものと思われます。つきましては、同封のアンケート用紙にご記入いただき、ご回答を FAX または Web 等にてお願いしたいと存じます。簡単なアンケート内容にしておりますが、誠に勝手ながら令和6年8月31日までの期限を設定させていただきます。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

※Web でのご回答は、
こちらの QR コードから可能です。



[ご質問やお問合せ窓口]

笠置町商工会
石徳、東

TEL: 0743-95-2159

FAX: 0743-95-2960

E-mail: kasagi-sci@kyoto-fsci.or.jp

笠置町商工会 令和6年度(1月～6月)景況感調査アンケート用紙
 (締切: 令和6年8月31日まで / 送信先 FAX: 0743-95-2960)

次の質問について、それぞれ○印でご回答ください。

1. 昨年(令和5年1月～6月)と比べて売上はどのような傾向にありますか？

かなり増加した	やや増加した	ほぼ変わらない	やや減少した	かなり減少した
---------	--------	---------	--------	---------

2. 昨年(令和5年1月～6月)と比べて利益はどのような傾向にありますか？

かなり増加した	やや増加した	ほぼ変わらない	やや減少した	かなり減少した
---------	--------	---------	--------	---------

3-1. 経営上での困りごとはありますか？(経営課題/外部環境) ※複数回答可

競争の変化	仕入れ(原材料価格) 価格の上昇	客数の減少	販売単価の下落	景気の低迷
その他()				

3-2. 経営上での困りごとはありますか？(経営課題/内部環境) ※複数回答可

販路開拓	営業・販売	商品開発	事業縮小	経営戦略
情報発信	人材不足	立地条件	仕入れ・在庫問題	事業承継
その他()				

4. 今後売上拡大を図るためにもっとも必要なことはどれですか？

販売単価のアップ	販売数の増加	既存顧客の リピート促進	新規顧客の獲得	新商品・新サービス 開発
----------	--------	-----------------	---------	-----------------

5. 大阪万博関連しての取引はありますか？

ある	ない
----	----

6. その他、具体的な経営課題(お悩みごと)等がございましたら、お聞かせください。

事業者名	
------	--